



【日商簿記検定3級】商品有高帳 問題

問8を除き、商品売買は三分法で記帳している。消費税は考慮しない。商品有高帳の摘要欄は「前月繰越」「仕入」「売上」「仕入戻し」「売上戻り」「次月繰越」を使う。以下の問1から問8まで解答をなさい。

問1

次の資料にもとづいて、×7年5月の商品有高帳（先入先出法）の空欄①～⑨に、数量・単価・金額を記入しなさい。

資料 ×7年5月の取引

5月1日 前月繰越 20個 @¥500

8日 仕入 30個 @¥560

15日 売上 35個 @¥800（売価）

欄	数量	単価	金額
5/15 払出（1行目）	①	②	③
5/15 払出（2行目）	④	⑤	⑥
5/15 残高	⑦	⑧	⑨

問2

次の資料にもとづいて、×7年6月の商品有高帳（移動平均法）の空欄①～⑤に、単価または金額を記入しなさい。

資料 ×7年6月の取引

6月1日 前月繰越 40個 @¥300

5日 仕入 60個 @¥350

12日 売上 50個

20日 仕入 50個 @¥370

25日 売上 70個

空欄	内容	記入するもの
①	6月5日の残高の単価	単価
②	6月12日の払出の金額	金額
③	6月20日の残高の単価	単価
④	6月25日の払出の金額	金額
⑤	6月25日の残高の金額	金額



問 3

次の商品有高帳（先入先出法）と販売価格の資料にもとづいて、×7年4月の①売上高、②売上原価、③売上総利益を答えなさい。

商 品 有 高 帳

〈先入先出法〉

〈品名〉商品 A

単位：個

×7年		摘要	受入			払出			残高		
			数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
4	1	前月繰越	30	400	12,000				30	400	12,000
	9	仕入	50	420	21,000				30	400	12,000
									50	420	21,000
	16	売上				30	400	12,000			
						30	420	12,600	20	420	8,400
	23	仕入	40	450	18,000				20	420	8,400
									40	450	18,000
	28	売上				20	420	8,400			
						10	450	4,500	30	450	13,500

【販売価格】4月16日の売上は1個あたり¥700、4月28日の売上は1個あたり¥720である。

①売上高	②売上原価	③売上総利益

**問 6**

次の資料にもとづいて、×7年9月の売上原価・月末商品棚卸高・売上総利益を、(A) 先入先出法と (B) 移動平均法のそれぞれで答えなさい。

資料 ×7年9月の取引

9月1日 前月繰越 20個 @¥600

5日 仕入 30個 @¥650

10日 売上 15個 @¥1,000 (売価)

12日 9月10日に売り上げた商品のうち5個が、品違いのため返品された (売上戻り)

20日 仕入 25個 @¥682

26日 売上 45個 @¥1,050 (売価)

※売上戻りは、払い出したときの単価 (原価) で受入欄に記入する。先入先出法では、9月10日の払出単価@¥600で受け入れ、同じ単価の残高に加えること。

※売上高は、売上戻りを差し引いた純額で計算すること。

	売上原価	月末商品棚卸高	売上総利益
(A) 先入先出法	①	②	③
(B) 移動平均法	④	⑤	⑥

[illegible]



(2)

①純売上高	②売上原価	③売上総利益



問8 (2027年度簿記3級対応)

当社は、商品売買を「販売のつど売上原価勘定に振り替える方法」で記帳し、商品有高帳は先入先出法により記入している。次の×7年11月の取引について、それぞれ仕訳を示しなさい。11月1日の前月繰越は10個 @¥2,000である。

取引

11月7日 商品20個を@¥2,100で仕入れ、代金は掛けとした。

14日 商品25個を@¥3,000で販売し、代金は掛けとした。

20日 11月14日に販売した商品のうち3個が品違いのため返品され、掛け代金から差し引いた。返品された商品は、商品有高帳に払出時の単価@¥2,100で受け入れる。

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額
11/7				
11/14				
11/20				